

第3章 基本方針・基本目標の検討

1. 住宅施策の基本方針

本市は、八ヶ岳連峰や蓼科山などの雄大な森林に抱かれて、縄文文化以来の長い歴史を築き上げてきました。八ヶ岳連峰の豊かな自然は、生きとし生けるものの生命を育み、住民の日々の生活を支えてきました。

人々の暮らしのなかで形づくられてきた住まいを未来につなげるため、住民一人ひとりが安全に暮らせ、住民同士が支えあえる地域である「人が安全で安心」な住まいづくりを進める必要があります。

また、少子高齢化を迎え、人口が減少していく社会において、今ある住まいを長く大切に使い、住宅は人々の生活に欠かせないことを自覚し、「住宅が安全で安心」な本市の資産として活用していく必要があります。

さらに、生活環境や都市基盤を整備し、まち並みや景観が美しいまち、安全で安心して暮らせる、市民が愛着と誇りを持った住みよい住まいづくりをめざします。

そこで、本市の住宅施策の基本方針を「人も住宅も安全で安心 豊かな住まいづくりをめざして」と定めます。

人も住宅も安全で安心 豊かな住まいづくりをめざして

この基本方針の実現のため、3つの考え方を基に総合的・体系的に住まいづくりを進めていきます。

ストック重視・市場重視

- ・既存住宅ストックを有効活用するとともに、良質な住宅ストックを形成し、適切に維持管理され、円滑に流通する循環型市場の形成を図ることを重視した施策を展開します。
- ・市場の成熟状況を踏まえつつ、可能な限り市場機能の活用を図ることを重視した施策を展開します。

福祉やまちづくり等の他分野との連携

- ・居住ニーズが多様化・高度化する中で、豊かな住まいづくりは住宅関連部局だけでは実現困難であることから、福祉、まちづくりや防災等の他分野との連携強化を図ります。

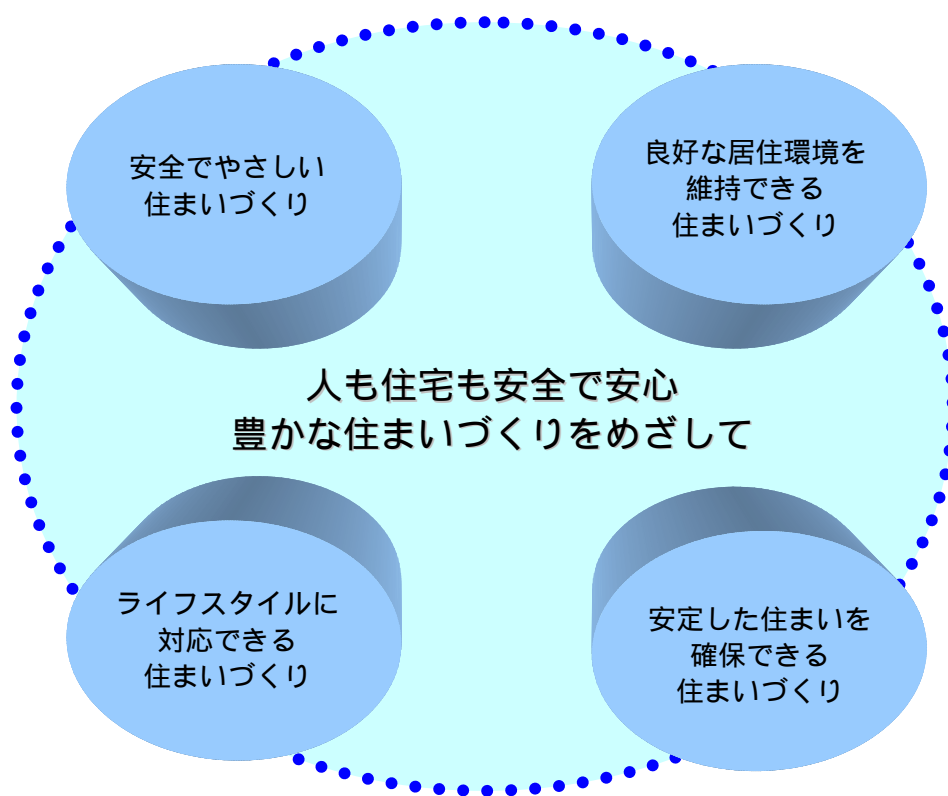
地域の実情を踏まえたきめ細かな対応

- ・地域の特性に応じた多様な居住ニーズに的確に対応するためには、地域の実情を最もよく把握している地方公共団体が主役となって、地域住民の団体、NPO、民間事業者等との連携の促進を図ります。

2. 住宅施策の基本目標

基本方針として掲げた「人も住宅も安全で安心 豊かな住まいづくりをめざして」を実現するために、国・県の住生活基本計画を踏まえ、以下の基本目標により施策を推進します。

基本目標 1	安全でやさしい住まいづくり
基本目標 2	良好な居住環境を維持できる住まいづくり
基本目標 3	ライフスタイルに対応できる住まいづくり
基本目標 4	安定した住まいを確保できる住まいづくり



基本目標 1 安全でやさしい住まいづくり

本市は、平成 14 年 4 月に東海地震防災対策強化地域指定され、平成 15 年度より、国及び県の補助金を受けながら、耐震診断及び耐震補強工事補助事業を実施し、地震に対する住宅施策を進めてきています。今後も、継続して耐震性能や防火性能などの基礎的な性能を確保することを推進し、また、形成された住宅ストックが長期にわたり活用できるよう、適切なリフォームが実施できることが必要となります。

また、住宅の安全性、耐久性、快適性、エネルギーの使用の合理性その他の住宅の品質又は性能に関して、その維持及び向上を図り、将来の市民の住生活の基盤となる良質な住宅ストックの形成を進めます。

基本目標 2 良好な居住環境を維持できる住まいづくり

本市は、地域から地域を結ぶ主要道路の整備が遅れ、住居地域の拡大や勤務地の移行など交通形態の多様化に対応が出来ず、また、本市の特性でもある別荘地へのアクセスが良くありません。また、地域の住環境整備等の遅れから、街並み修景の一貫性に欠け、古い街並みと高原都市としての茅野市らしさが感じられないといった課題が挙げられます。

これらの課題を解決するため、インフラ整備を進めるとともに、併せて地域の特性に応じた良好なまちづくりを行うことが必要となります。

基本目標3 ライフスタイルに対応できる住まいづくり

本市は、多くの別荘を抱えており、別荘区域内には、約 13,000 人の所有者等がいて、市内に訪れる人口としては大きなウェイトを占めています。また、今後大量に退職されると見られている団塊の世代には自然豊かな環境や故郷で暮らしながら、能力と経験を活かした仕事をしたいという潜在ニーズがあります。

これらのニーズに対応するために、多様なライフスタイルに対応した施策を展開し、定住人口の増加や地域の活性化の推進を図ります。

基本目標4 安定した住まいを確保できる住まいづくり

自力では適正な水準の住宅を確保できない住宅困窮者の住宅確保のために、市営住宅を本市は、単身高齢世帯や母子家庭世帯が増加傾向にあります。これらの世帯を含め、適切に供給・改修・維持管理する必要があります。また、住宅困窮者等が必要な住宅を確保できるような支援を推進します。